

「噂の跡を追って」



私の名前はホイ・アン。
このシリーズのテーマであるデマ
やヘイト・スピーチの拡散問題に
取り組むジャーナリストです



今や世界的に普及したソーシャル・メディア。東アジアも例外ではありません。



では、どのようなプラットフォームが利用され、情報発信でこういった役割を果たしているかご存じでしょうか？

一緒に「噂の跡」を追って
みましょう!



韓国

人口:5,210万人

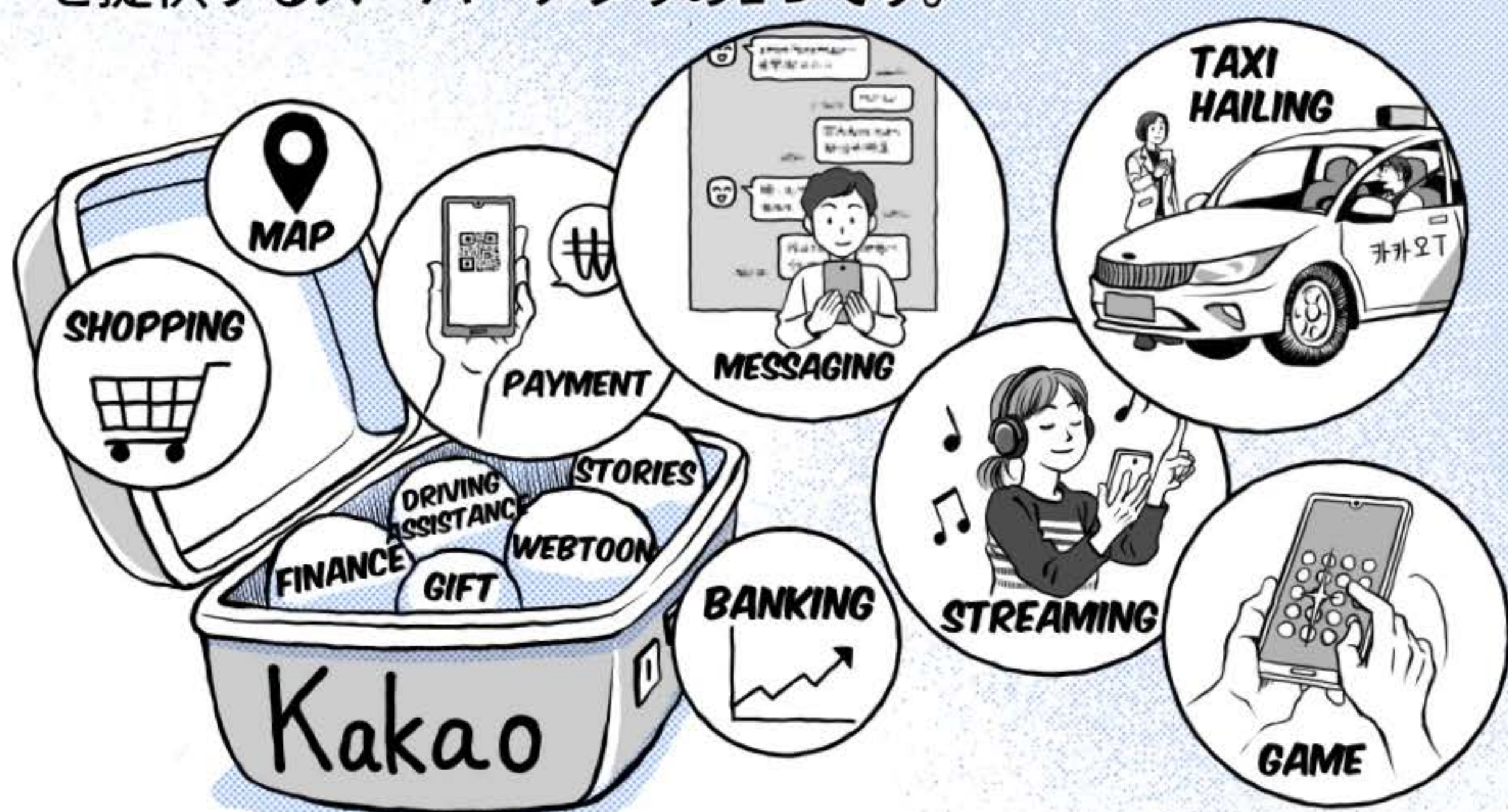
インターネット推定普及率:97.6% 最も人気

のあるプラットフォーム:Kakao Talk、

Instagram、Facebook



KakaoTalkは、国民の87%が利用する韓国の代表的なメッセージング・プラットフォームで、メッセージング、決済、ゲームなど、幅広いサービスを提供するスーパーアプリの1つです。



これらのサービスは人々の生活に深く浸透しています。

それが問題になることも。
2022年にKakaoのデータ・センターで火災が発生してシステムがダウンした際には、混乱が全国に広がりました。



日本

人口:1億2,320万人
インターネット推定普及率:82.9%
最も人気のあるプラットフォーム:X
(Twitter)、LINE、Instagram



日本では、人口の約81%が各種プラットフォームを活用しています。

なかでも重要なのは、X (旧Twitter)です。6,000万人以上のユーザーを抱える日本は、このプラットフォームにとって米国に次ぐ2番目に大きな市場です。



その地理的条件から自然災害に見舞われやすい日本では、メッセージング・プラットフォームが災害時や災害後に役立つ情報を発信する上で欠かせない存在です。

しかし、そのアルゴリズムがデマを取り上げ、混乱を広げる原因にもなっています。



台湾

人口:2,360万人

インターネット推定普及率:90.7%

最も人気のあるプラットフォーム:LINE、Instagram、Facebook



韓国企業が開発し、日本企業が運営するLINEは、台湾で2,200万人のユーザー数を誇ります。台湾の人口が2,360万人なので、ほぼ全員がLINEを使っていることになります。



韓国のKakaoのように、LINEは台湾で多様なサービスを提供し、広範なエコシステムを築き上げました。

人々の日常生活に深く根付いたメッセージング・アプリは、噂やデマ、詐欺の拡散といった社会問題にもつながっています。



香港

人口:730万人
インターネット推定普及率:93.1%
最も人気のあるプラットフォーム:
WhatsApp、WeChat、LINE



香港は、欧米・アジア、
どちらのプラットフォーム
にとっても特別な場所
です。かつての英国の植
民地で、世界的な金融の
中心地である香港は、長
年デジタル・サービスが
盛んな土地でした。

しかし、状況は一変します。

2020年以降、中国が
本土とは政治体制の異
なる香港への統制を強
化したためです。



プライバシーに対する懸念か
ら、多くの人々がメッセー
ジング・アプリの安全性につ
いて考えるようになりました。

変化は、新しいプラット
フォームの台頭にも見られ
ます。親会社が同じとはい
え、欧米で広く利用されて
いるプラットフォーム
TikTokは、中国版のDouyin
に取って代わられました。



ソーシャル・メディアの普及と、テクノロジーやインターネットの進化のあり方が、ジャーナリスト、教育者、研究者は、デマや噂、ヘイト・スピーチといった問題にどのように取り組むべきかという疑問を私たちに投げかけています。

一緒に解決策を見つけ出し、インスピレーションを得ましょう!

噂の跡を追って

Search





**GOETHE
INSTITUT**